

市役所等の地球温暖化防止活動

平成27年度地球温暖化防止活動実践結果

エネルギー等使用量減も CO2排出量は増



地球温暖化の影響と思われる海水温の上昇やそれに伴う北極海域の海水面積の縮小化、局的集中豪雨など世界的異常気象が続いています。国は、平成9年に温室効果ガスの削減を定めた「京都議定書」により「地球温暖化対策の推進に関する法律」を公布しました。これは、社会経済活動による温室効果ガス排出の抑制等を促進し、地球温暖化対策の推進を図ることを目的としたものです。このなかで、各地方公共団体の事務や事業に係る温室効果ガス排出抑制計画の策定、実践結果を公表することが義務付けられています。

■市役所等の実行計画

本市では、同法律に基づき、平成18年1月に「枕崎市等地球温暖化防止活動実行計画」を策定しました。計画では、平成12年度を基準年とし、平成18年度から22年度までの5年間で6%

の温室効果ガスの削減を目標として実践し、10・1%の削減を達成しました。引き続き、市の事務や事業に関し、率先して地球温暖化対策を推進するため、平成23年4月に「第2次枕崎市等地球温暖化防止活動実行計画」を策定しました。平成21年度を基準年に平成23年度から27年度までの5年間で、5%の削減を目標に実践してきましたが、原子力発電所運転停止に伴い、電気の使用に伴うCO2排出係数が大きくなったため、34・2%の増加となりました。

■27年度は44・7%増加

平成27年度の温室効果ガス総排出量は、約5628トンを基準年(平成21年度)に比べ1737・8ト(44・7%)増加しました。これは、昨年同様「電気の使用に伴うCO2排出係数」が計画初年の平成23年度に比べ、約1・72倍となったことが大きく影響し、温室効果ガス総排出量

は44・7%の増加となりました。
※電気の使用に伴うCO2排出係数
II 電気を作るために排出されるCO2排出量。原子力発電所運転停止に伴い、火力発電所等の運転増により係数が大きくなっています。

参考として、下左表の右欄に

平成23年度の排出係数で試算した結果では、293ト(7・5%)の減となりました。具体的には、平成27年度の電気使用量は基準年と比較して約8・3%減少し、ガソリンなどの燃料使用量も約8・9%減少しました。

国では、京都議定書目標達成計画の計画期間終了の平成24年度末以降、新たな地球温暖化対策計画は策定されていません。しかし、政府は当面の方針として、京都議定書目標達成計画に掲げられたものと同等以上の取組を推進することを地方公共団体や事業者等に求めています。市では、このような状況を見極めながら今後も温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます。

※実践結果及び計画の詳細は、市ホームページに掲載しています。

■問合せ

市民生活課環境整備係 TEL 721111(内線327)

●平成27年度CO2換算温室効果ガスの排出量(対基準年)

単位: kg-CO2

対象	種類	平成21年度(基準年)		平成27年度			【参考】排出係数平成23年度数値使用		
		排出量	構成比	排出量	構成比	対基準年	平成27年度	構成比	対基準年
市役所	CO2	2,182,679.1	95.4%	3,147,501.6	96.8%	44.2%	1,948,456.3	94.9%	▲10.7%
	CH4	27,766.7	1.2%	27,584.9	0.8%	▲0.7%	27,584.9	1.3%	▲0.7%
	N2O	77,243.1	3.4%	76,682.8	2.4%	▲0.7%	76,682.8	3.8%	▲0.7%
	計	2,287,688.9	100.0%	3,251,769.3	100.0%	42.1%	2,052,724.0	100.0%	▲10.3%
消防署	CO2	55,241.1	98.5%	66,931.3	99.3%	21.2%	54,122.8	99.1%	▲2.0%
	CH4	42.9	0.1%	26.9	0.0%	▲37.3%	26.9	0.1%	▲37.3%
	N2O	763.5	1.4%	437.2	0.7%	▲42.7%	437.2	0.8%	▲42.7%
	計	56,047.5	100.0%	67,395.4	100.0%	20.2%	54,586.9	100.0%	▲2.6%
衛生管理組合*	CO2	1,420,260.2	91.8%	2,172,527.8	94.1%	53.0%	1,353,633.5	90.8%	▲4.7%
	CH4	9,416.0	0.6%	11,522.5	0.5%	22.4%	11,522.5	0.8%	22.4%
	N2O	117,221.6	7.6%	125,277.5	5.4%	6.9%	125,277.5	8.4%	6.9%
	計	1,546,897.8	100.0%	2,309,327.8	100.0%	49.3%	1,490,433.5	100.0%	▲3.7%
合計		3,890,634.2		5,628,492.5		44.7%	3,597,744.4		▲7.5%

●CO2(二酸化炭素)…代表的な温室効果ガス。石油、石炭等の化石燃料が主な発生源
●CH4(メタン)…稲作、家畜の消化管内発酵、廃棄物の埋め立てなどから発生
●N2O(一酸化二窒素)…窒素肥料の使用、工業製品の製造などにより発生
※衛生管理組合の数字は内鍋清掃センター、共同斎場、衛生センター分を表示

●平成23年度から27年度のCO2換算温室効果ガスの排出量(市全体、対基準年)

年度	単年度		累計	
	排出量	対基準年	排出量	対基準年
平成21年度(第2次基準年)	3,890,634.2		17,456,038.7	
平成23年度	3,855,157.0	▲0.9%	3,855,157.0	▲0.9%
平成24年度	5,125,481.0	31.7%	8,980,638.0	15.4%
平成25年度	5,687,026.4	46.2%	14,667,664.4	25.7%
平成26年度	5,805,320.5	49.2%	20,472,984.9	31.6%
平成27年度	5,628,492.5	44.7%	26,101,477.4	34.2%

●電気使用量と温室効果ガスの排出量比較

